

第19回日本Awake Surgery学会 一般演題プログラム

演題番号	演題名
脳神経外科-1	
O1-1	演題取り下げ
O1-2	覚醒下術中皮質脳波の有用性
O1-3	Head-mounted Displayを用いた術中視野評価の工夫
O1-4	左島回後方病変に対するtrans-Heschl's gyrus approachと左Heschl's gyrusの機能解析
O1-5	言語野マッピングでの皮質刺激の工夫と高ガンマ活動の利用
O1-6	Lower-grade gliomaに対する覚醒下脳機能マッピングによる腫瘍摘出の意義について
タスク・麻酔関連	
O2-1	覚醒下手術における左右帯状回モニタリングに最適なタスクの検討
O2-2	地域中核病院(地域医療支援病院)に於ける、覚醒下手術とモニタリング・マッピングの工夫
O2-3	膠芽腫症例で得られる術中高次脳機能タスク陽性所見の特徴
O2-4	覚醒下手術 術中痙攣発作コントロールにおけるレベチラセタム・ペランパネル併用療法の有効性について
O2-5	Awake Craniotomy術中のレミマゾラムを用いた麻酔管理についての検討 覚醒時のフルマゼニル投与に関する考察・検討
O2-6	デクスメトミジンが硬膜下電極を用いたMEPに与える影響について
O2-7	14歳の小児に対する覚醒下てんかん焦点切除術の麻酔経験
脳神経外科-2	
O3-1	教訓的な症例 術後に交叉性失語を呈した1例について
O3-2	深部に局在する転移性脳腫瘍に対する覚醒下手術の治療経験
O3-3	覚醒下手術における摘出範囲決定に必要な要因
O3-4	中心前回近傍のグリオーマに対する摘出術の治療成績と覚醒下手術についての検討
O3-5	左大脳半球の海綿状血管腫に対する覚醒下摘出術:グリオーマとの比較
O3-6	皮質皮質間誘発電位を併用した覚醒下開頭腫瘍摘出術の有用性評価
O3-7	左側頭葉乏突起膠腫の覚醒下手術後に聴覚理解を主体とした失語にて復職できていない1例から学ぶこと